

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

| | |
|--------------------------------------|---|
| 学習活動名 | 電気を効率よく使うにはどうしたらよいかを考えよう |
| 学年 | 第6学年 |
| 目標 | 生活の中でエネルギーを効率よく利用するためのプログラムを考え、MESHを用いてプログラミングする。 |
| 教材タイプ | ビジュアル言語・タンジブル |
| 使用教材 | MESH |
| 環境 | 児童9人で3台の端末を使用 |
| 都道府県 | 愛媛県 |
| 実施校 | 鬼北町立好藤小学校 |
| 学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。) | <p>学習活動の概要</p> <p>①作ってためた電気を、効率よく使うためにはどうすればいいと思うか考える。 ②生活の中で電気を効率よく利用するためのプログラムを考え、MESHを用いてプログラミングする。 ③作成したプログラムを発表し、意見交換をする。 ④身の回りには、センサーなどを使ってエネルギーを効率よく利用している道具があることに気付く。 ⑤これまでに学習してきたことを振り返る。</p> <p>児童の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中は、友達同士で活発に意見交換をし、アイデアを出し合ってよりよいプログラムを作ろうと検討している様子が見られた。また、どの児童も、出された課題に対して、グループ内で協力し、試行錯誤しながら解決しようと主体的に取り組んでいた。 ・振り返りでは、プログラミングを学ぶことの意義を感じ取り、さらに学んでみたいと記述する児童が多かった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○振り返り 身の回りにはプログラミングがタダくあるんだとか かりました。プログラミングを糸目うちに、 こうしたらいいとかいろいろな考え方が出てきて 自分たちで考えるおにりました。将来でも大きな役 割を果たすプログラミングを勉強してよかったです。</p> </div> |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は、プログラミング学習に取り組む中で、プログラミングが日常生活に役立っていることや、プログラミングが難しいものではなく、自分たちにもできることが実感できた。 ・プログラミングを体験できる機器は高額なものが多く、プログラミングを行うためのハード面の整備が大きな課題である。また、MESHは直感的に操作できるため、プログラミングに知識のない教員でも指導するのが容易であるが、接続トラブルに対処するため、教員の情報機器活用能力を高めておく必要がある。 |

